

NO TITLE

TALES OF SYMPHONIA
REGAL×PRESEA

FOR ADULT

PRESENTED BY TOKO-YA



**NO
TITLE**

TALES OF SYMPHONIA
REGAL×PRESEA

FOR ADULT

PRESENTED BY TOKO-YA

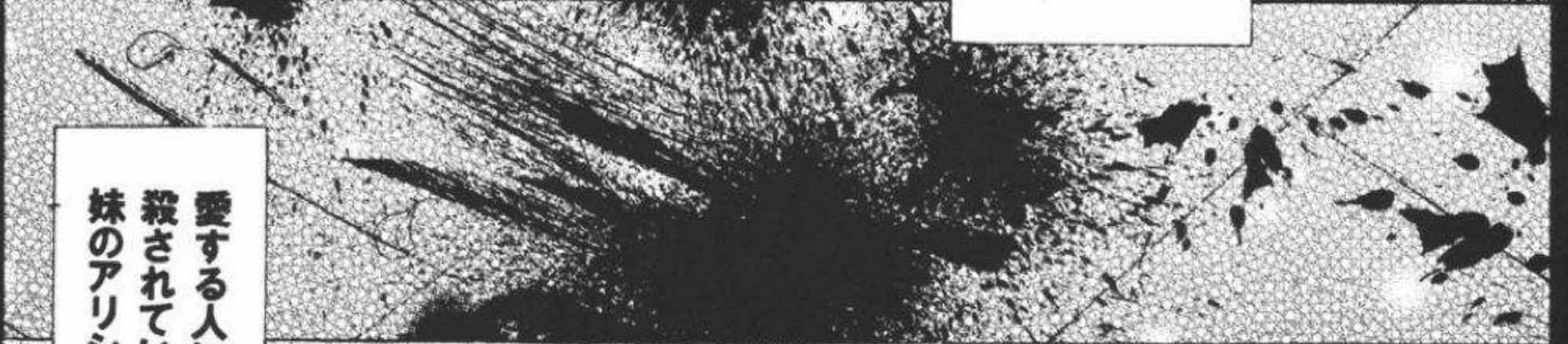
16年……



わたしの
失くした
大切な時間



失った心の中では
その死に気付く
事さえ
出来なかった
病気のババ……

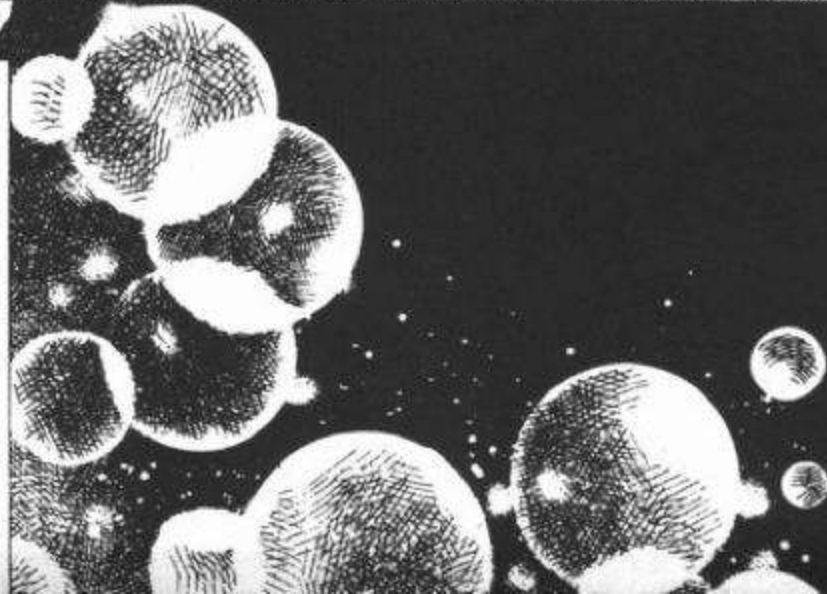


愛する人に
殺されていた
妹のアリシア……



16年……

大きく変わった
わたしの
世界……



その時の中に
わたしはひとり
残された…





海だよ海!!

海!
めいめん



ぜろぜろぜろ
たいに
海がいいっ!!!!

海なんて
シルヴァアラントにも
あるじゃないか
遊園地がいいよ!!



...ガキ...

いいじゃないのサ
どっちでも

しばらくは
この街
アルタミラを
拠点にするんだらう?

私は明日は
別行動を
取らせてもらうわ
調べたい事
があるから

コレットは
どうすんだい?

え?

わたし?



わたしは
ロイドと
一緒だよ

ようーしー!

……あ……
そう……



多数決で
海に決まりい!!

ええええええ!!



そんなの
ずるいよ
ロイド!

ずるかねーよ
びよーどー
じゃねーか

どうでもいいから
静かにしなさい
あなた達っ!



あ……

ねえ
プレセア!

251

プレセアも
遊びに行くなら
遊園地が
いいよね?!

.....

.....え...?

明日の予定だよ!
たまの休みで
一日自由行動!

プ..
プレセアも
ボクとっ.....

ボクたちと
一緒に遊ぼうよ!

海がいい?

それとも
遊園地?

ん!

劇場で
観劇するのも
いいけどねえ...

海だよ海
海海海!!

もうっ
ロイドは
黙っててよ!

せっかく水着
もらったのに
もったいないじゃ
ねーか

折角フリーパス
あるのに
もったいないよ!

…あの…
わたし…
明日は…

生憎プレセアは
アルタミラ従業員の
一員として
明日の会議に出席して
もらう事になっている



…今の…
リーガルか?

お仕事
まだ終わらない
みたいだね…



まあ…
なんてって
会長だからねえ



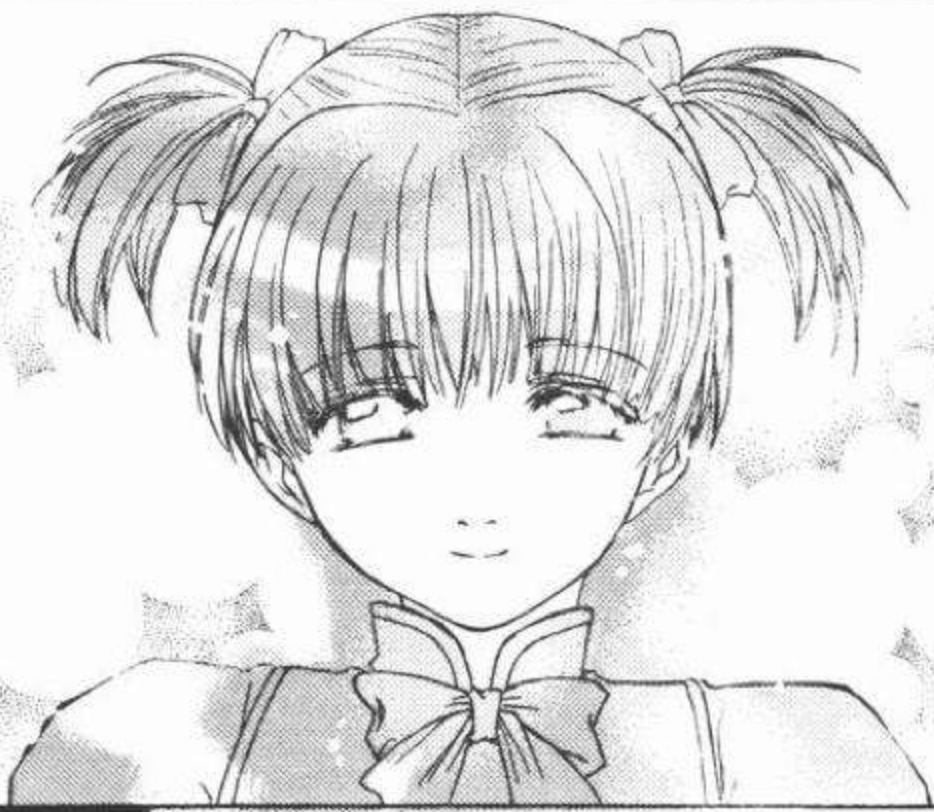
リーガルさまを
怒まないで…

お願い……

……さうぼた……

アリシア……





…さようなら

…リーガルさま…



最後の時……

アリシアは——



…プレセア……？

こんばんは…



…どうしたのだ？
こんな時分……

……



わたしも…
会議に出席する
お話は…
知らなかったから…

ああ…



…お休みなさい
リーガルさん…



いやそうでは
ないのだが…



では…
また…
明日にお尋ね
します…



またまた
またまた

あ…いや

少し時間を
とらせてもらっても
かまわぬか？

…お前に
渡したいものが
あるのだが……

アリシアの
遺品の中から
見つかった

…彼女が…
最後に残した
手紙だ…

宛名の人物に
手渡さねばと…
ずっと
思っていた…

Puresia Cona

……そう……

……ですか……



…フムフム…



お返し
します…

……



…何故だ…？

…確かにこれは
妹がわたしに書いた
手紙なのかも
しれません…
ですが…

わたしの
知らない人の
字です…

わたしの記憶の中の
アリシアは…
もっと小さな
女の子でした……

小さなアリシアは…
こんな字は
書きません……

おとなの
アリシアは
あなたのもです…

…だから…

…お前の慰めに
なればと
思った……

少しでも…

…寂しさを…
癒せはしまいか
と…

…リーガル
さんは…
わたしにやさしい
です…

でも…

わたしなら…
大丈夫…

孤独は…
ひとりで
味わうもの
だと…

…子供の時に…
覚えましたから…

そして
わたしは…
もう子供では
ありません…

だから…
判るんです
リーガルさん…



あなたが
わたしに
やさしいのは
わたしがアリシアの
姉妹だから…

つぐないの為に
そうして
下さるのなら…

…必要の…
ない事です…

本当に…

わたしは…
ひとりでも
いいんです…

アリシアに
似ているから
ですよ…？



私が
憎いか？



…今でも
私を
殺したいと…？



あなたを
許す事…

それが…
妹の最後の
願いでした…



…リーガル
さんは…
アリシアの…
大切なひとです…

—
だが…

……もう
やめて……!!



リーガルさんの
やさしさは…
わたしには
侮辱です…!!

あなたは
アリシアを
殺したのに…

わたしから
アリシアを
奪ったのに…!!

わたしには
妹の仇を討つ
事も出来ない…

あなたを怨む
事さえ……

——アリシアが——

アリシアが
最後の呼んだ名は

最後に
瞳に映したのは

最後に求めたのは





…アリシアが
ずっと思っ
ていたのは…

…わたしでは
ありません…

あのこが
最後に呼んだ
名は—

わたしじゃ
ない……

ちいさな
アリシアは……

あんな瞳で
あなたを
見たりしない…

わたしの…

わたしの
アリシアは……!!

…すまない…



…そうする事で
お前が救われると
いうのなら

私を憎んで
くれてもかまわぬ



…すまん…

…あやまり
ないで…

やめて…!!



私への憎しみは
お前に生きる
強さを与える
だろう

怒りは…
悲しみや孤独を
埋める事が
出来るかと…

私も…

知っている……

…リーガル
さんを
憎む事が…

わたしの…
新しい生きる糧に
なる筈でした……

だから…
リーガルさん…

わたしを
抱いてください…



…プレセア?



—アリシアと
同じに…

わたしがあなたを
憎めないのは
あなたが妹の
大切なひとだから

アリシアの…
最後の願い
だからです…

…だから…
—だから…

もし…
リーガルさんが…

アリシアを
裏切って…

アリシアの…
大切なひとでは
なくなったら—

このからだは
まだちいさい
けれど…

わたしと
アリシアは…

とても……
似ているので
しょう……？

…レセア…



……あなたを
憎む事が……

わたしに……
生きる強さを
与えてくれる……



そうですね……？





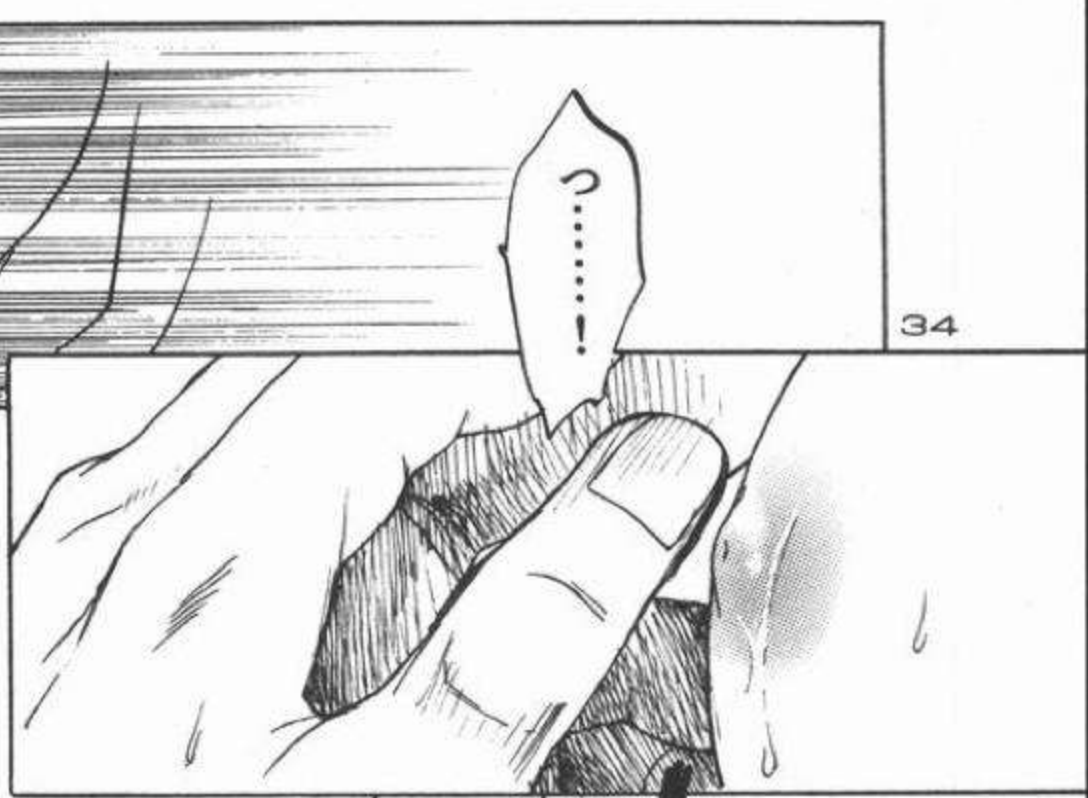




あっ...



あ...!
いたっ...!



?...?





今……..
リーガルさんが
やめてしまったら……

わたし……絶対に
あなたを
許しません……!!



やめないで……!

……プレセア……!

……やめないで



……ください……



やめないで……



お願いっ……!!





む...

ん...

ん...

ん...



ん...

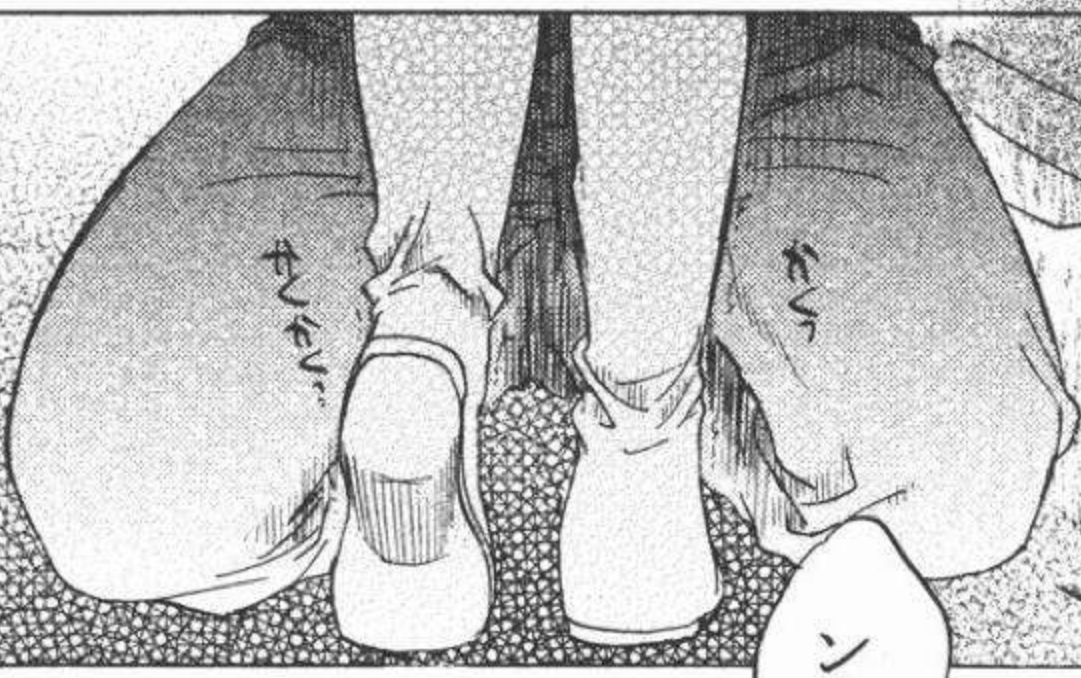
んうう



ん...

ん...

んう...



ん...





それから
長く――

……経験が
ない……



……最後に
女性の肌に
触れたのは……

もう……随分と
昔の話だ……



はあ……

はあ……



教えて
ください……

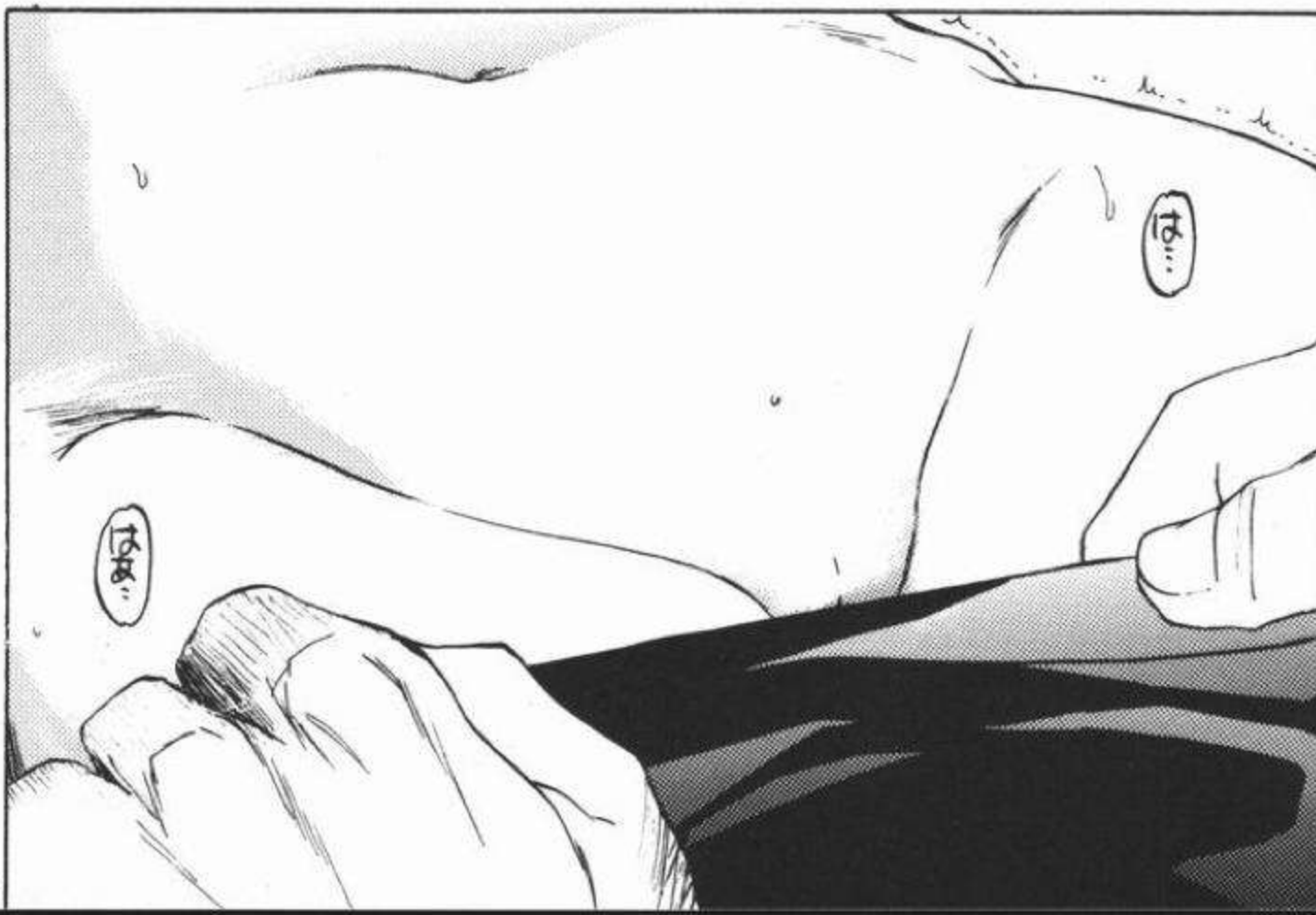
わたし……
覚えます……



……リーガル
さんは……

こんなからだ
でも……

女性として……
扱って下さるん
ですね……







あ...

や...

びちゃびちゃ

うんっ...

や...

はアッ

あ...

あんっ...

は...



や…っ！

あ…やあ！

大丈夫だ
プレセア…

プレセア

指で触れる
だけだ……

この

て

ら

た

ほ

はっ…

は…！

うあっ！

た

んんっ！

ん…んんっ！

た

た

た

た

た

た



ふあッ

ちびっ

ちびっ

ちびっ



ちびっ

あ...

あああッ



ちびっ

はアッ!

う...あッ!



あ...

あああッ

リ...ガル...

あッ...



ちびっ

は...

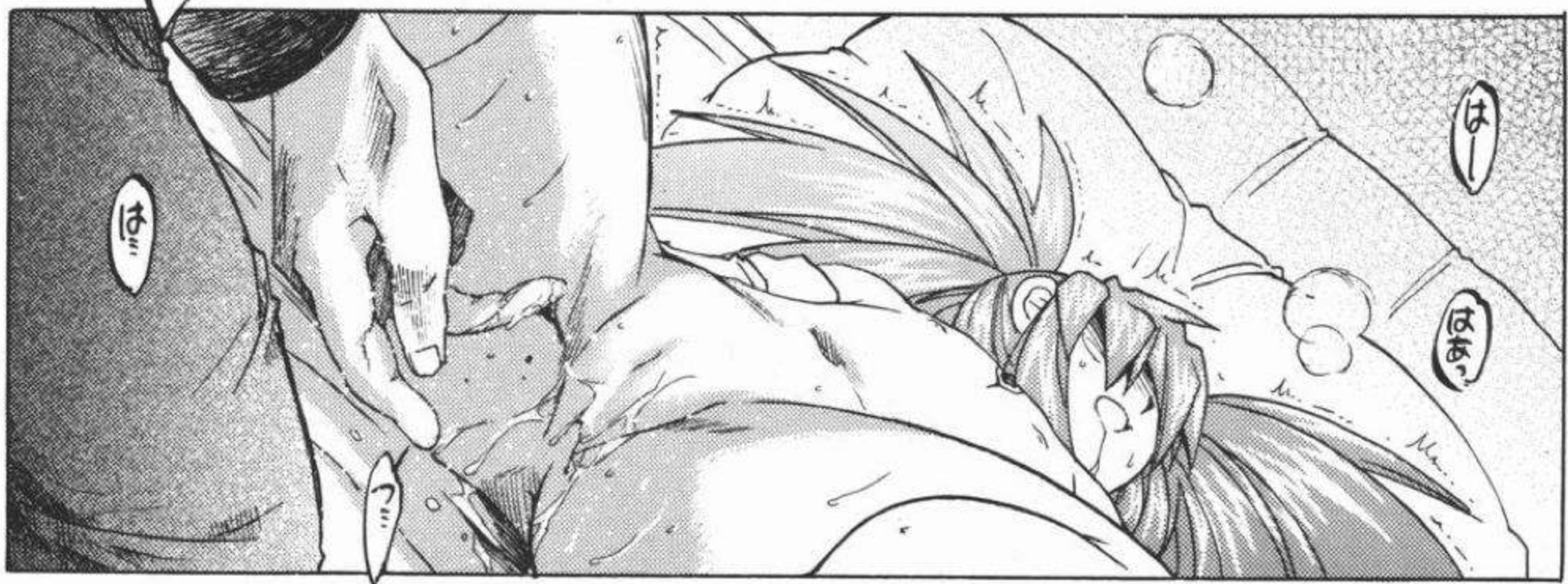
は...

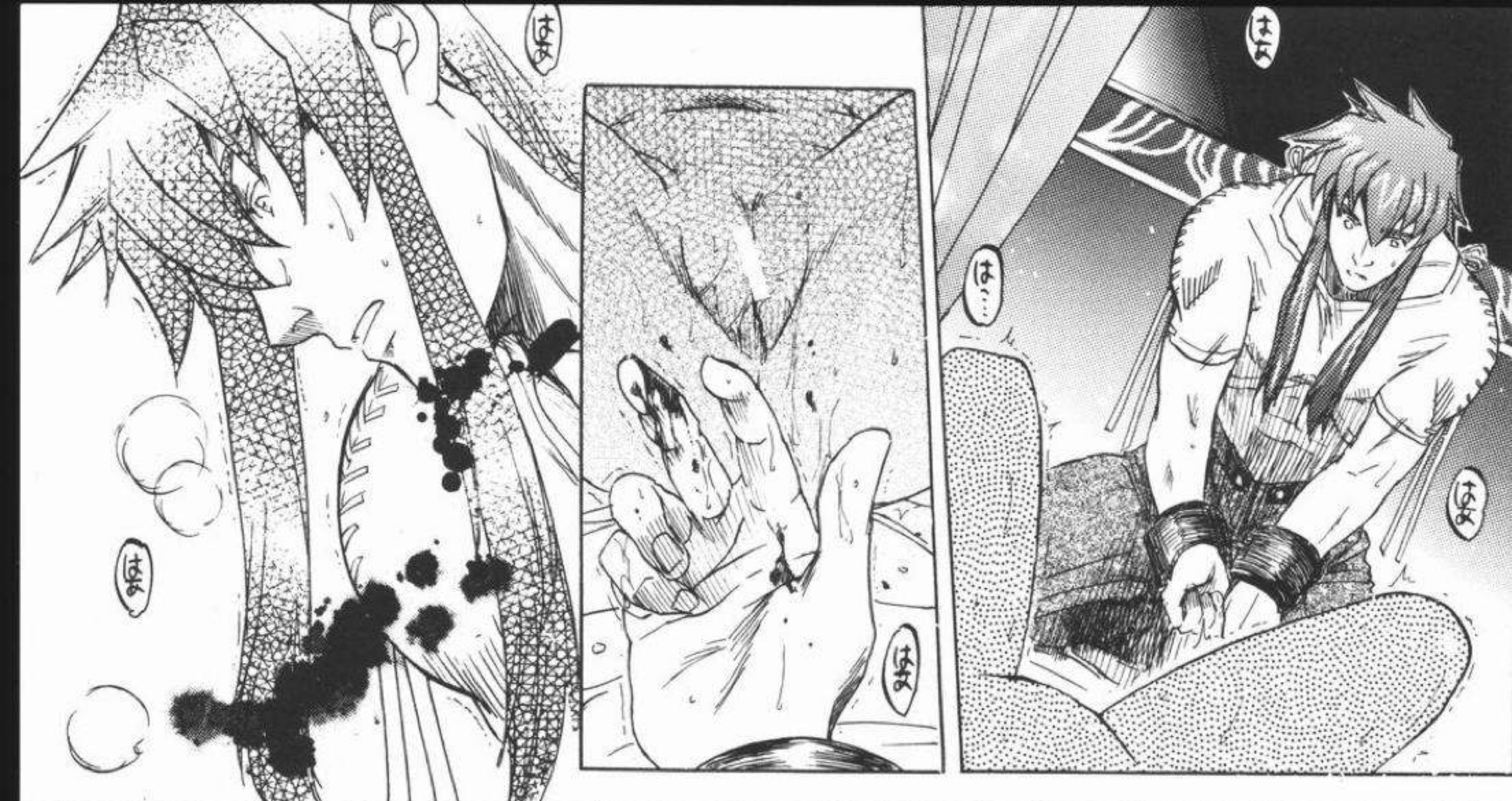


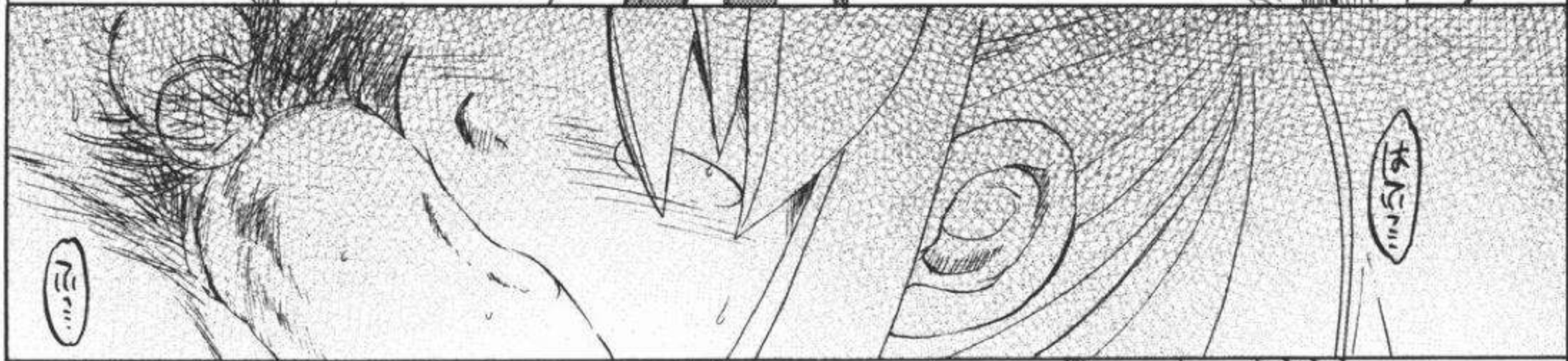
ちびっ

は...

は...あ!













プレセア...っ

...平気...です

...ちゃんと
出来ます...



ぬちゃ...

リ...

リ...ガル...
さん...が...



プレセア!

わい

わ...

わたし...
を.....

わたしを...

あ

お...

おかせ...

ぼ...あ

ああ...!





カッ
ッ

.....

.....
リ
.....



…無理をする
ものではない…!

真実の
お前が……

おとな
成人の……
女性であるとして
いう事は……

……私も
知っている……

……だが
プレセア……

今の
お前は……!

はあ

はあ……

はあ

オ……

オゼットに
いた頃……

男性と……女性の
からだが……
繋がっている
ところを
見ました……

……今のような
方法で？

……このような
やり方では
お前のからだに
負担がかかる
だけだ……

……からだは
つらいか……？

ニムク

女性に任せ切りに
するには
あまりにしよびない
行為だ……

あたたかい
です……

……

リーガル
さんの手……

くちびるも——

……







あはッ...

あッ

あーッ

はあッ

...少しずつ
でいい...

ちからを...
抜けるか
プレセア?

は...ッ

あーッ!

は...ッ

あは...!





あアツ

う…あ



ひあッ

ああッ

は…ッ



リ…
リーガルさ…

リーガルさん…



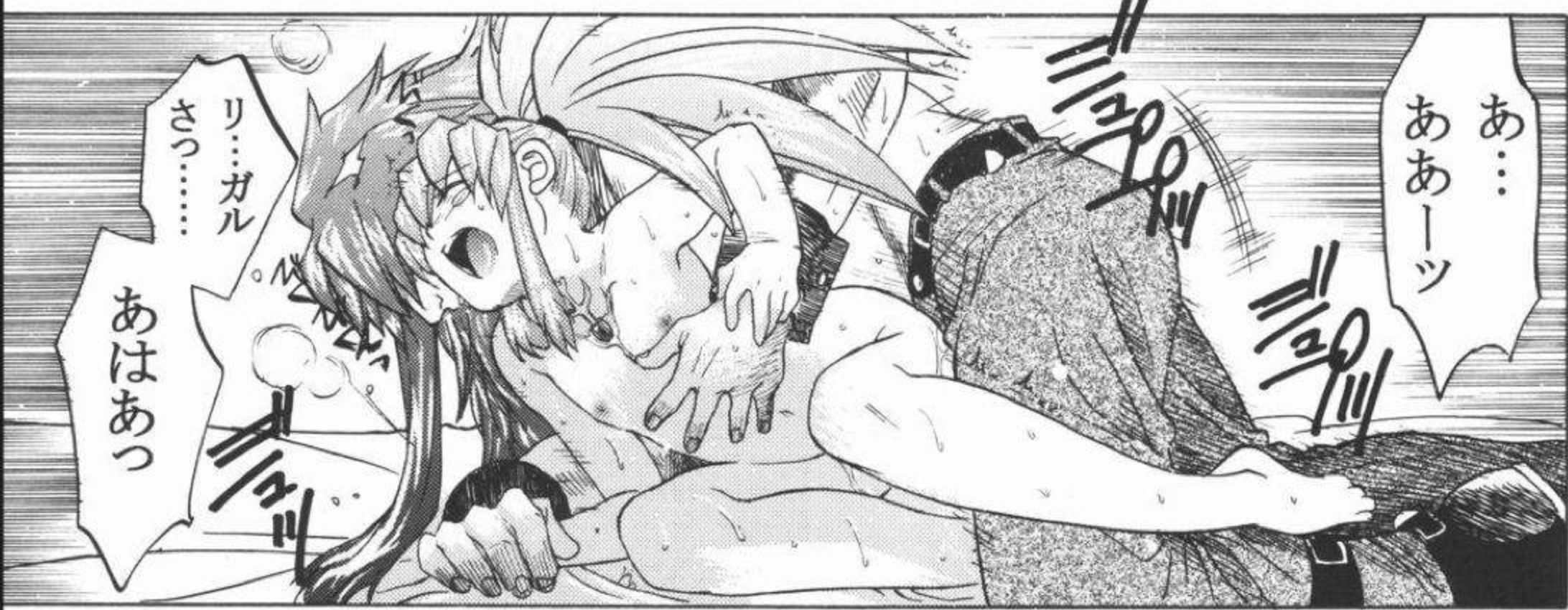
は…

はあッ



は…

あ…
ああっ



リ…ガル
さっ…
あはあっ

あ…
ああーッ



ふ…

ふ…
ふーッ
…プレシア…
— 何故
私の名を呼ぶ？

は……んっ
アアッ

アアッ

アアッ

アアッ

あーっ!

アアッ……

はっ……

はあ……

わ……
判っ……

な……
……なまえ……
なっ……



は...

わから
ないっ...

は...

は...あ

わ...

わ
かりま
せん...

は...



ん...う

ん...う





あああつ

リーガル
さんっ…

あーっ

リ…ガル
さんっ…

…プレセア…

リ…

は…あ



プレセア…

プレセア…

あ…
あ…
あ…

あああああ



はあっ

ひはっ

ああッ

ん…あ

あやッ

はあっ

は…あん

は…あアアッ

リーガル
…さ…!

あっっ

あ…あっ



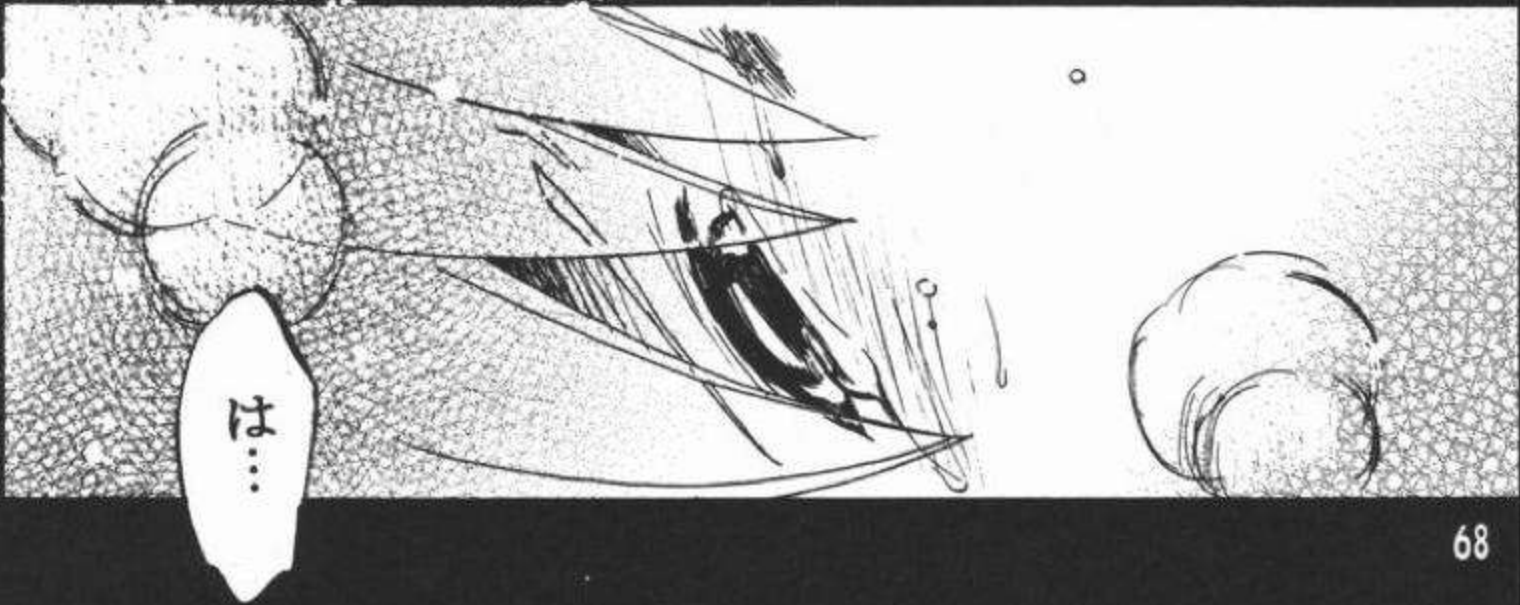
ん.....

クワッ
クワッ

ん.....

クワッ

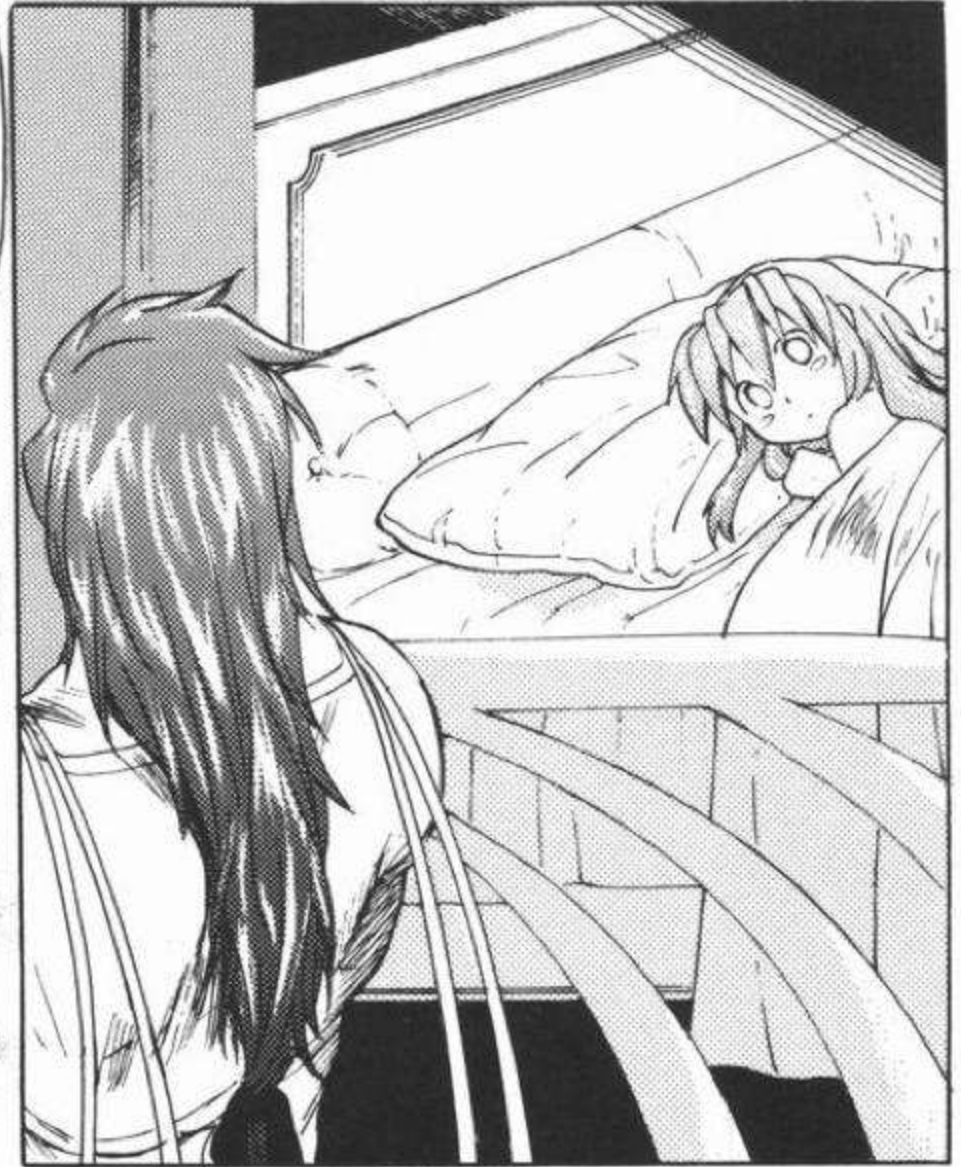
クワッ



— ああ
これでいい

ありがとう
ジオルジュ...





— すまない

起こして
しまったか？
プレセア…



か
あ
あ
あ
あ
あ
あ



...プレセア...?

かき

手枷.....

プ.....

...はずして...
なかったん
ですね.....

まだ
この戒めを
外す訳には
いかぬからな

.....
ジオルジュに
直させた...



……ごめん
なさい……



……お前の謝る
事では
あるまい……



これでお前は……
私を憎む事が
出来るのだろうか？



……
……それに……



わたしが…
あなたにそう
させました…



…リーガル
さんは…
アリシアを…
裏切ったん
です…

……そうだ…



…二度とこの手で
人を傷付けぬという
誓いさえ…

理由は
何であれ…
私は彼女を
殺め…
そして彼女を
裏切った



…もう…
休んだ方が
いい…

—まだ

折角の休日を
ベッドの中で
過ごす気か？

憎しみはある…

…孤独感も…
変わらない…

今日は…

アリシアの墓標に
花を届けに
いくのだろうか？

アリシアを
殺したひと……

アリシアを——
愛した……ひと……

……リーガル
さん……は……

今日も……
お仕事なの
ですよ……？

——ああ……

……お花は……
あなたが持って
きてください……

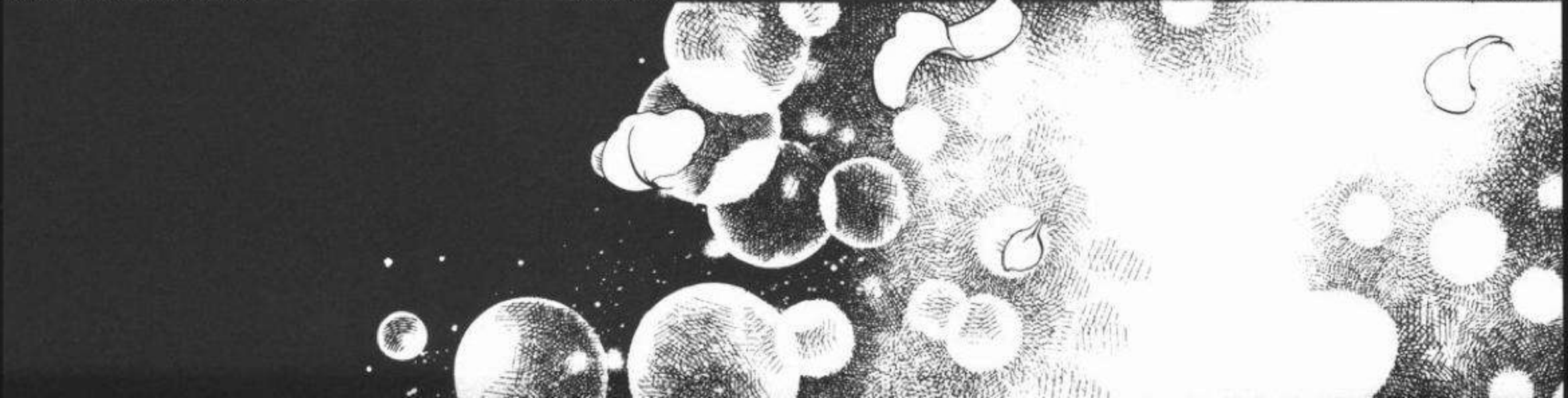
アリシアの
手紙も
一緒に……

聞かせて
ください……
わたしの知らない
妹の事……



アリシアと……
待ってます

リーガル
さん……!!



**NO
TITLE**

ナミュコさん、
素敵なゲームをありがとうございます。

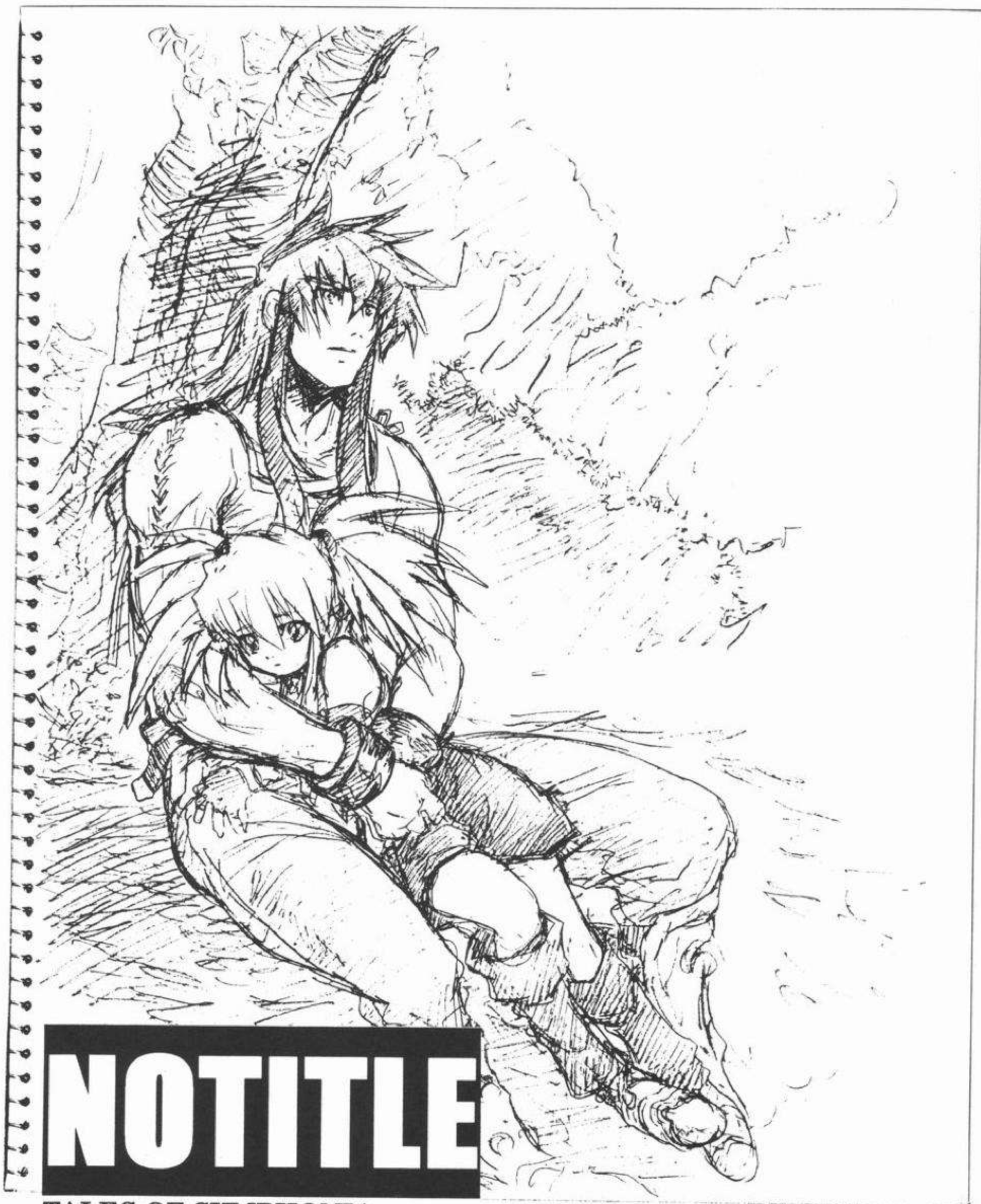
リーガル会長（33）の老成したお人柄と、
健気で一生懸命迷って考えているプレセアさん（28）が大好きです。
痛ましい設定含めて、全てがツボでございました
作業中はこの上なく幸せな時間を過ごさせて頂いたような気がします。
そんな感じでリガプレ本、（合同入れたら）3回目。
語りだしたら止まらなくなりそうなのと、收拾付かなくなりそうなのとで
あまり表面に出さないようにはしておりますが
本当に君たち二人が大好きだ。

ああもう、たまらんなコンチクショウ!!!（笑）

現在、結城 聖氏著 TOS 小説版が
『自分の中での読んだら幸せになれる本ランキング』ぶっ契り上位。
アリシアさんイベントの演出が切ないです。
というか、氏の書かれる会長とプレセアさんのキャラクター描写が
たいへん素敵です。
何度も読み返して反芻してはおいしく頂いております（痛）。

シンフォニアはまだ描き足りない感があるので、
また何かしらの本を作りたいなと思いつつ。
ご拝読、ありがとうございました。

2004・12
鬼頭 えん



NOTITLE

TALES OF SYMPHONIA
REGAL×PRESEA

NO TITLE

発行 * 床子屋
発行日 * 2004 年 12 月 30 日 (コミックマーケット 67)
監修 * HEIZO

*** 禁！無断転載・無断掲載 ***

本書は成人指定・有害図書です。

未成年者の閲覧・購読を固く禁じます。

インターネット上での無断転載はご遠慮下さい。